

Outlook(office2019/Microsoft365) SMTP 認証設定方法

この手順書では Microsoft 社のメールソフト「Outlook (office2019/Microsoft365)」をお使いの方が、SMTP 認証設定を変更する手順を説明します。

※SMTP 認証とは：メール送信時にアカウントおよびパスワードの認証を行うことで、正規の利用者であることを確認する仕組み。これにより悪意のある第三者によるなりすまし送信を防ぐことができます。

「Outlook」の設定およびソフトの使用につきましては、お客様の判断のもとご利用ください。

※本資料は 2021 年 7 月現在のものです。設定画面の表示は変更されることがあります。

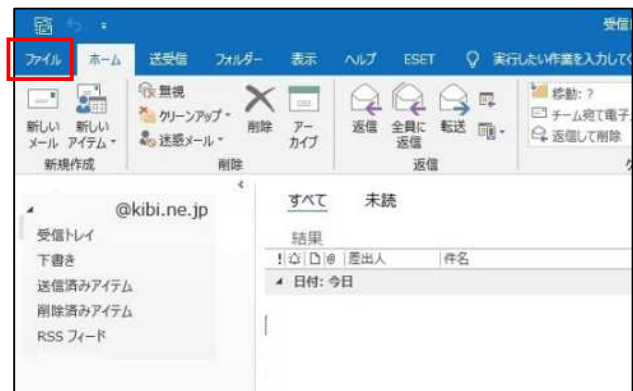
1. Outlook を起動します。

(「スタート」で表示されるアプリ一覧から
選択します)



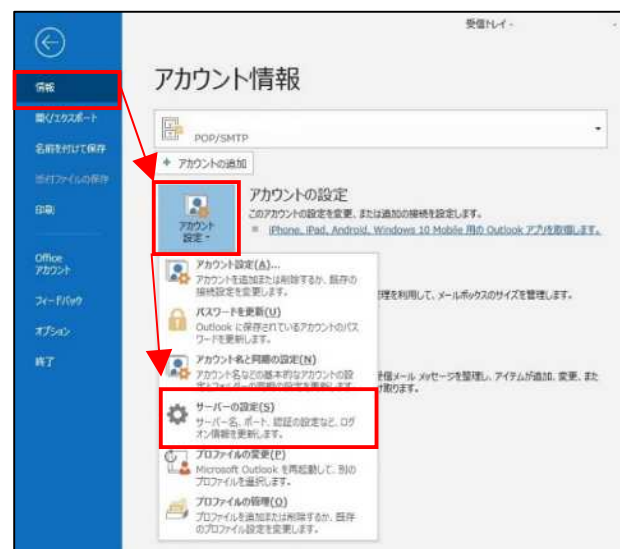
2. 受信トレイ画面が表示されます。

画面左上の「ファイル」ボタンをクリックします。



3. 「情報」から「アカウント設定」、

→ 「サーバーの設定」を選択します。



4. 「アカウントの設定」画面が開きます。
「送信メール」を選択します。

POP アカウントの設定
@kibi.ne.jp

受信メール (A) ↓

ユーザー名: @kibi.ne.jp

パスワード: *****

パスワードを保存する

サーバー: mail.kibi.ne.jp ポート: 110

このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログインが必要

送信メール ↓

次へ

5. 送信メール設定が開きます。
「送信メール」の項目を以下のように設定します。

サーバー : mail.kibi.ne.jp

ポート : 587

暗号化方式 : STARTTLS

- 送信(SMTP)サーバーには認証が必要で
す にチェックを入れます。
- 受信メールサーバーと同じ設定を使用する
にチェックを入れます。

POP アカウントの設定
@kibi.ne.jp

受信メール ↓

送信メール ↑

サーバー: mail.kibi.ne.jp ポート: 587

暗号化方法: STARTTLS

サーバーのタイムアウト →

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログインが必要

送信 (SMTP) サーバーには認証が必要です

受信メール サーバーと同じ設定を使用する

ユーザー名とパスワードを使用してログイン

メールを送信する前に受信メール サーバーにログインする

次へ

確認が終わったら「次へ」を選択します。

6. 「アカウントが正常に更新されました」
と表示されます。
「完了」を選択します。

画面を閉じて、元の画面に戻ります。

Outlook

アカウントが正常に更新されました

完了